

情報セキュリティ基本方針

東京三協信用金庫（以下、当金庫）は、経営の健全性・公共性の維持・向上させることを目的とし、情報資産の適切な取扱いに努め、お客様を含む地域社会の信頼に応えるとともに、さまざまな脅威による被害を最小限に抑え事業活動の維持に資するため、情報セキュリティ基本方針（以下、本方針）を定めます。

1. 目的

当金庫が保有する情報資産を適切に保護・管理し、情報資産の『漏えい』『改ざん』『紛失・盗難』『不正使用』などの情報セキュリティ事故を未然に防止し、取引先のお客様との信頼関係を構築・維持することを目的とします。

2. 管理体制

当金庫は、情報資産の保護および適切な管理を行うため、情報セキュリティ管理態勢ならびにセキュリティインシデントの緊急時対応態勢を整備すると共に、情報セキュリティに関する責任者を配置し情報セキュリティ管理体制を整備します。

3. 規程類の整備

当金庫は情報セキュリティに関する各種法令、指針等における基準等を遵守するとともに情報資産の保護および適切な管理を行うための規則等を整備します。

4. 規程等の遵守

当金庫は、情報資産の保護および適切な管理を行うため、情報セキュリティに関する規程、基準等を整備し、金庫役職員に周知徹底するための教育・訓練を実施することで役職員の情報モラルの向上を図ります。

5. 情報資産の管理

当金庫は、情報資産に応じた適切な情報セキュリティ対策を実施することで、情報セキュリティ事故の発生予防に努めます。万が一の事故発生時にも迅速対応に努め、被害を最小限にとどめるべく最善を尽くすとともに、再発防止のための策を講じます。

6. 外部委託先の管理

当金庫は外部委託を行う際は、外部委託先の情報セキュリティに関する適格性等を十分に吟味し、当金庫同等以上の情報セキュリティレベルを維持するよう要請していきます。

また業務委託先のセキュリティレベルが適切に維持されていることを確認するため、定期的に業務委託先を見直し、管理の強化に努めます。

7. 継続的な改善

当金庫は、情報セキュリティに対する適切な管理・運営を維持するとともに、よりよい管理態勢を目指すため、情報セキュリティに関する管理態勢および対策実施状況を継続的に見直してまいります。

2020年04月10日

東京三協信用金庫